

## PRESS RELEASE



# 「アッチ・向いて・ホイ」開催

期間：2021年1月9日～18日、1月23日～2月1日、2月5日～14日

この度元町に生まれた新たなスペース、サイレン 601 は多摩美術大学在籍の遠藤裕太、秋田菜々、阪口智章の3名によるグループ展「アッチ・向いて・ホイ」を開催します。

この展示では元町の風景を出発点としながら、それぞれの感心や研究に従った展示を3回に分け、バトン形式で発表していきます。

第一回、遠藤裕太の展示ではグラフィティへの関心から看板を手掛かりにした作品を展示します。

第二回の秋田菜々の展示は街中に存在する空虚な空間に対する関心をベースに「ボコボコ」という言葉をキーワードにした作品を展開します。

第三回、阪口智章の展示では、人の生活や営みをきっかけに自身の身体を介しながら制作し発表していきます。一人一人の展覧会をバトン形式で繋いでいく事によって展開されるグループ展を乞うご期待下さい。

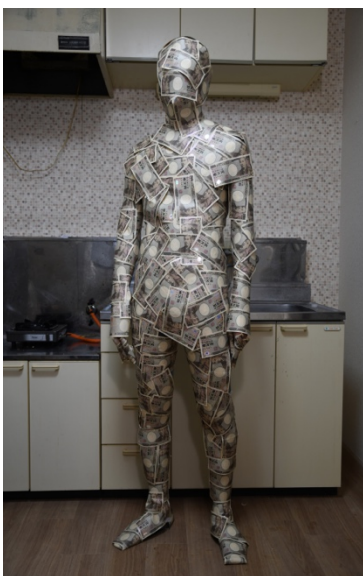
## 『参加作家』



- ・ 遠藤 裕太  
1998 年生まれ  
多摩美術大学絵画油画専攻在籍
- ・ 主な展覧会  
「フラット三階建て」プライベート
- ・ 絵画や写真を主な表現媒体としながら、建築や都市の中での絵の在り方や人の存在について探りながら制作を行う。



- ・ 秋田 菜々  
1998 年生まれ  
多摩美術大学絵画油画専攻在籍
- ・ 主な展覧会  
「room a」横浜市民ギャラリー オンライン展示
- ・ アニメーションの手法を応用したインスタレーションを展開し、その作品は時間の流れと共に時に挑発的に多様な物語を形成する。



- ・ 阪口 智章  
1998 年生まれ  
多摩美術大学絵画油画専攻在籍
- ・ 主な展覧会  
「I was there」東京造形大学 CS lab アイスキューブギャラリー
- ・ 生活の中で生じた個人的な感情や体験をきっかけに、それらを社会の動きや状況と重ね合わせながら自身の身体を介した作品を展開する。

# サイレン601

横浜の元町に生まれた新たなスペース、サイレン601はプロ、アマ問わず様々なアーティストの作品を企画展などを通して発表していくスペースです。

名前にもなっているサイレン（SIREN）は「警報」という意味を持ちます。アーティストが作品を作り、発信していく過程で生まれる爆発的なエネルギーをこの言葉に見立て、サイレン601ではアーティストのエネルギーを直接体感して頂けるような場作りを目指していきます。

## 【開催概要】

展覧会名 「アッチ・向いて・ホイ」

会期 第一回（遠藤 裕太） 2021年1月9日（土）～18日（月）  
第二回（秋田 菜々） 1月23日（土）～2月1日（月）  
第三回（阪口 智章） 2月5日（金）～14日（木）

時間 会期中無休 12時～19時 入場料無料

会場 〒231-0861 神奈川県横浜市中区元町1-20 601号室

アクセス 元町・中華街駅より徒歩2分

※新型コロナウイルス対策の為、ご来場時はマスクの着用と会場内設置の消毒液のご利用をお願い致します。37.5度以上の発熱、その他体調の優れない方のご来場はご遠慮下さい。